

LM・米ドル毎月分配型ファンド

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第203期(決算日2018年12月18日) 第204期(決算日2019年1月18日) 第205期(決算日2019年2月18日)
第206期(決算日2019年3月18日) 第207期(決算日2019年4月18日) 第208期(決算日2019年5月20日)

作成対象期間(2018年11月20日～2019年5月20日)

第208期末(2019年5月20日)	
基準価額	7,190円
純資産総額	10,877百万円
第203期～第208期	
騰落率	△1.1%
分配金(税込み)合計	42円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・米ドル毎月分配型ファンド」は、2019年5月20日に第208期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建債券への投資で得られるインカムゲインにより、米ドル短期金利水準の分配を毎月行い、米ドル原資産元本の安定した運用成果を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

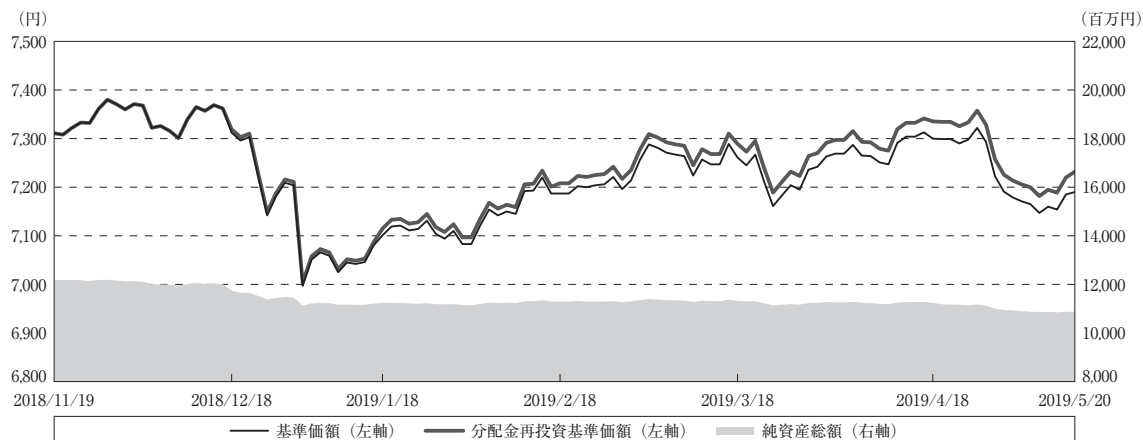
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年11月20日～2019年5月20日)



第203期首：7,311円

第208期末：7,190円 (既払分配金(税込み):42円)

騰落率：△ 1.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年11月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期のパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。

公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りの低下(価格は上昇)を受けてプラスとなりました。一方、為替損益については、米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから、マイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年5月20日)

項目	第203期～第208期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	35	0.485	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(16)	(0.221)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.242)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.031	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(0)	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	37	0.516	
作成期間の平均基準価額は、7,231円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

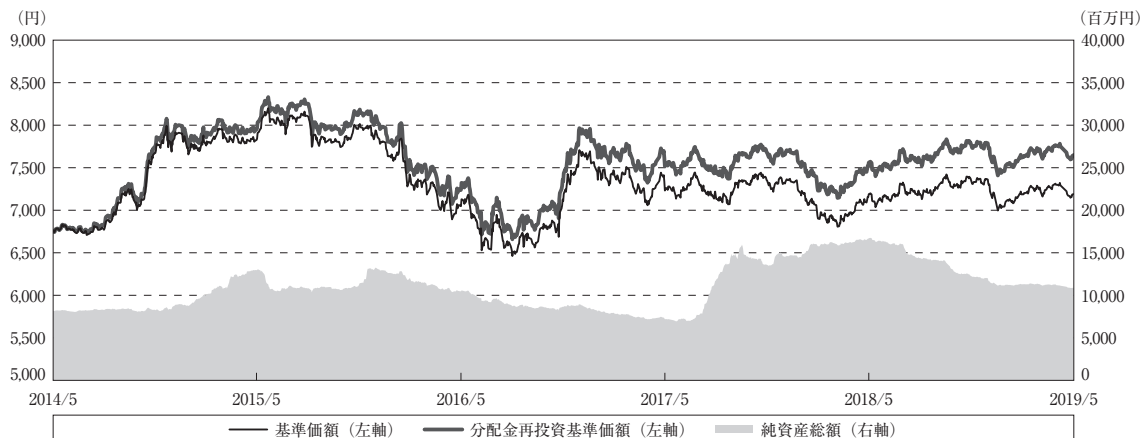
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年5月19日～2019年5月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年5月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年5月19日 決算日	2015年5月18日 決算日	2016年5月18日 決算日	2017年5月18日 決算日	2018年5月18日 決算日	2019年5月20日 決算日
基準価額 (円)	6,758	7,826	7,048	7,232	7,189	7,190
期間分配金合計(税込み) (円)	-	114	84	84	84	84
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	17.6	△ 8.9	3.8	0.6	1.2
純資産総額 (百万円)	8,170	12,957	10,459	7,180	16,721	10,877

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

(2018年11月20日～2019年5月20日)

当作成期の米国債券市場は、利回りが低下しました。期の前半は、世界景気の先行き不透明感が意識される中、株式相場が急落したことから、安全資産としての債券が買われ、利回りの低下が進みました。その後、景気の先行きに対する過度の警戒感が後退し、株式相場が反発すると、利回りは下げ止まりました。期の半ばは、株式相場が堅調に推移する中、利回りに上昇圧力が掛かる場面も見られましたが、世界的な景気減速懸念が改めて意識される中、利回りは概ね低下基調となりました。期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が2019年内は利上げを見送る方針を示したことなどから、利回りは一段と低下しました。その後、米中の貿易協議が合意に近づいているとの期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、利回りは一時上昇（価格は下落）しましたが、貿易協議が不調に終わると、再び低下に向かいました。

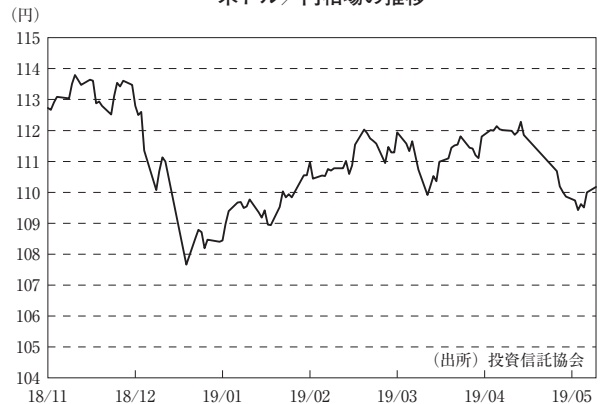
社債セクターについては、世界景気の減速懸念を受けて米国株式相場が急落した局面で、社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。しかしその後は、株式相場の反発に伴い、スプレッドは縮小しました。モーゲージ証券（MBS）セクターは、当作成期末にかけてスプレッドが拡大する展開となりました。資産担保証券（ABS）セクターについては、米国株式相場が急落した局面でスプレッドは拡大しましたが、その後は縮小する展開となりました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。期の前半は、世界景気の先行き不透明感を背景に株式相場が急落し、為替市場全般でリスク回避に伴う円買いが強まったことから、米ドルは対円で下落しました。その後は、世界景気の先行きに対する過度の警戒感が後退し、リスク回避姿勢が和らいだことから、米ドルは下げ止まりました。期の半ばは、米中の貿易交渉に対する進展期待等を背景に株式相場が上昇する中、米ドル買い・円売りが優勢となりました。期の後半は、FRBが2019年内は利上げを見送る方針を示したことなどから、米ドル売り・円買いが一時優勢となりました。その後は、米中の貿易協議が合意に近づいているとの期待が高まり、リスク回避姿勢が和らいだことから、米ドルは対円で持ち直しましたが、貿易協議が不調に終わると下落に転じました。

米国10年国債利回りの推移



米ドル／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

(2018年11月20日～2019年5月20日)

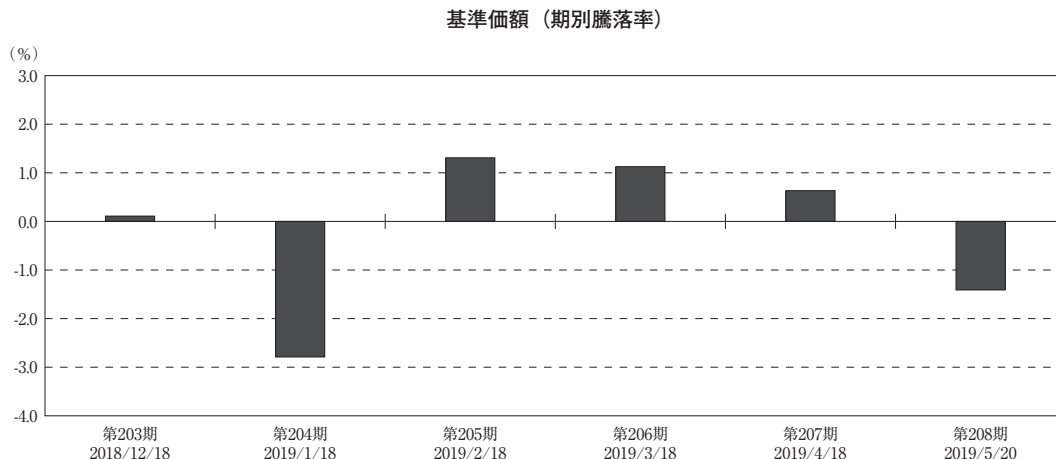
当ファンドは、主に「LM・米国短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として米国の国債、政府機関債、事業債、モーゲージ担保債務証券等を含むモーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用に努めてまいりました。主たる投資対象である個別債券は、原則としてS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスのうち1社以上の格付機関からBBB-/Baa3格以上の格付けを付与されているものとし、ポートフォリオの平均格付けはA-/A3格以上を維持します。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年11月20日～2019年5月20日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2018年11月20日～2019年5月20日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期	第208期
	2018年11月20日～ 2018年12月18日	2018年12月19日～ 2019年1月18日	2019年1月19日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	7 0.096%	7 0.098%	7 0.097%	7 0.096%	7 0.096%	7 0.097%
当期の収益	7	7	7	7	7	7
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	465	469	478	485	494	498

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主として米国の国債、政府機関債、事業債、モーゲージ担保債務証券等を含むモーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

お知らせ

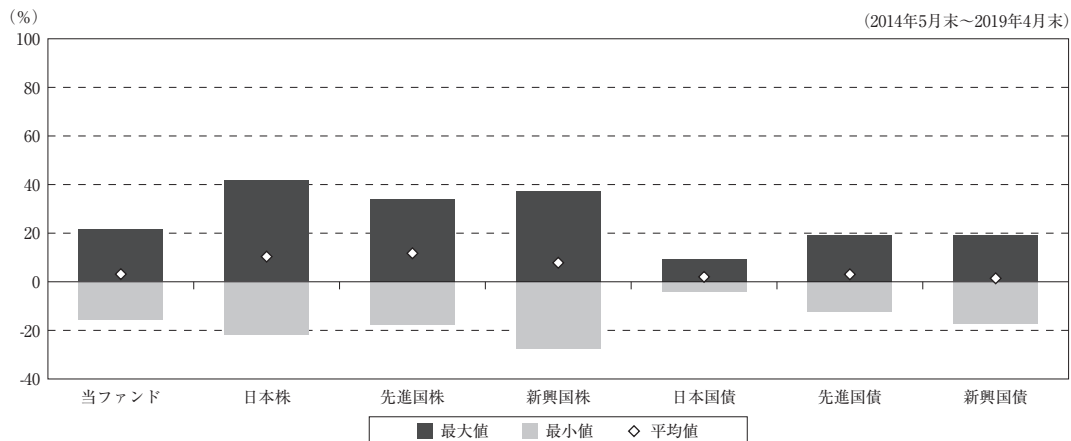
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主として米ドル建債券に投資し、米ドル短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、米ドル短期金利水準の分配を毎月行い、米ドル原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・米国短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・米国短期投資適格債マザーファンド	主として米ドル建ての米国公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式（新株引受権証券等を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・米国短期投資適格債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 15.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.1	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年5月20日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第208期末
LM・米国短期投資適格債マザーファンド	100.2%
組入銘柄数	1銘柄

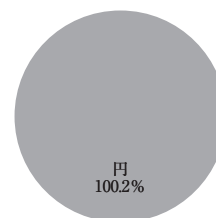
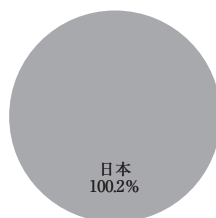
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第203期末	第204期末	第205期末	第206期末	第207期末	第208期末
	2018年12月18日	2019年1月18日	2019年2月18日	2019年3月18日	2019年4月18日	2019年5月20日
純資産総額	11,739,070,922円	11,240,365,725円	11,294,438,850円	11,320,478,629円	11,238,914,577円	10,877,428,286円
受益権総口数	16,054,740,809口	15,830,169,490口	15,714,296,073口	15,591,608,133口	15,395,798,707口	15,128,182,089口
1万口当たり基準価額	7,312円	7,101円	7,187円	7,261円	7,300円	7,190円

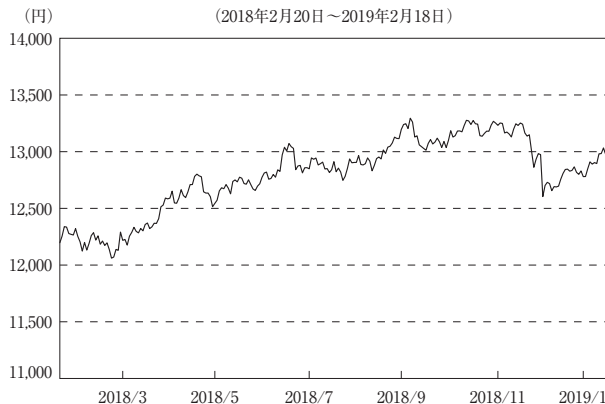
* 当作成期間（第203期～第208期）中における追加設定元本額は128,216,849円、同解約元本額は1,675,122,118円です。

組入上位ファンドの概要

L・M・米国短期投資適格債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年2月20日～2019年2月18日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年2月20日～2019年2月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.032 (0.032)
合計	4	0.032

期中の平均基準価額は、12,795円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年2月18日現在)

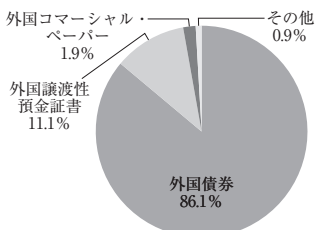
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY BILL 0% 2019/3/19	国債証券	米ドル	アメリカ	5.8
2 US TREASURY BILL 0% 2019/2/28	国債証券	米ドル	アメリカ	5.7
3 US TREASURY NOTE 1.375% 2019/7/31	国債証券	米ドル	アメリカ	3.8
4 COOPERATIEVE RABOBAN	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	2.9
5 WELLS FARGO BK FRN	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	2.9
6 ROYALBANK CANADA FRN	譲渡性預金証券	米ドル	カナダ	2.9
7 US TREASURY BILL 0% 2019/3/7	国債証券	米ドル	アメリカ	2.9
8 US TREASURY NOTE 2.25% 2020/2/29	国債証券	米ドル	アメリカ	2.9
9 CA IMPERIAL BK FRN	コマーシャル・ペーパー	米ドル	カナダ	1.9
10 BNP PARIBAS NY FRN	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	1.4
組入銘柄数		129銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

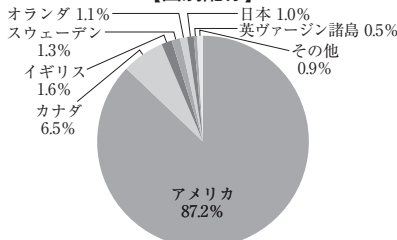
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

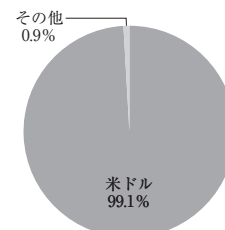
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。